

教員への「変形労働時間制」導入に絶対反対を

■臨時国会での上程を阻止しよう

2018年度の全国の公立学校の教職員採用試験の倍率は3.2倍と00年度の12.5倍から四分の一に落ち込んでいます。さらに正規の欠員を穴埋めするための非正規教員のなり手が圧倒的に不足し、全国で1241件も配置されていません(5/1現在)。これは明らかに国の教育政策＝安倍教育改革の破綻と言わねばなりません。

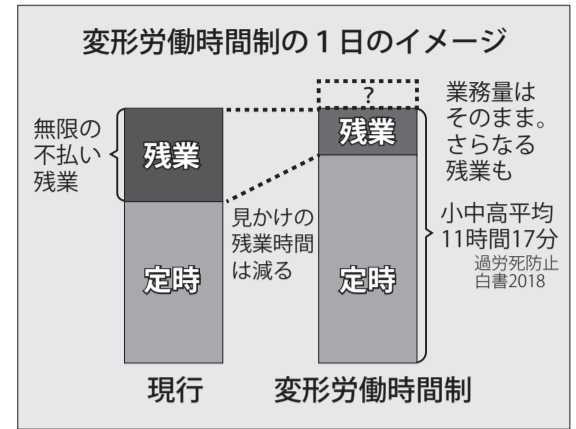
政府・文科省は、この秋の臨時国会で、学校現場への「1年単位の変形労働時間制」の導入を目論んでいます。1年単位の変形労働時間制は教員をはじめ地方公務員は適用除外になっており、地公法や場合によっては労基法改定が必要になります。中教審の試算では、現状の働き方に見合う残業代を支払うためには、年間1兆数千億が必要になるとしています。一方で安倍は、最新鋭の戦闘機購入など

国防費には5年で27兆円もの予算を組んでいます。財源がないわけではありません。これが「教育より軍事優先」の安倍政治そのものです。

■8時間労働制解体し過労死促進

変形労働時間制導入は、労働者が闘って勝ちとってきた8時間労働制を解体しようとするものです。「8時間働く(8時間は睡眠、8時間は労働者の自由に!)」という労働時間原則の解体は、労働時間に関係なく働く、成果業績主義賃金へと直結します。

中教審は「子どものためという意識が」超勤をもたらす、と長時間労働の責任を現場に転嫁したうえで、「より短い在校時間でその成果を上げた教師に高い評価を」などと”生産性向上”を競い合わせ、職場の協働性を破壊し「国家のために死ぬまで働く教職員」をつくり



出そうとしているのです。

労働時間をめぐる闘いは、教育労働運動の原点である改憲・戦争阻止と並ぶ、労働組合最大の課題です。職場から「1年単位の変形労働時間制導入」反対! の声を束ね、地区支部教組から県教組へ、反対の闘いをつくり出しましょう。今こそ「スト権＝憲法28条を復権する」時です。

本気で「多忙化」を解消する気があるなら、全国学力調査廃止! 免許更新制度廃止! 人事評価・査定給廃止! 給特法廃止! を実行しろ。「教員が教員をいじめる」分断構造を、職場の団結でひっくり返しましょう。教職員の良好な労働条件こそ、子どもたちの学習環境そのものです!

「広島教職員100人声明」の決起に続こう

■今こそ改憲・戦争阻止の声を

日教組は朝鮮戦争の真ただ中、1951年「教え子を再び戦場に送るな!」を掲げ、さらには「勤評は戦争への一里塚」と訴えて全国で保護者・地域住民とともに闘い、戦後の反戦運動の先陣を切る役割を果たしてきました。

いま安倍が強行する「戦争のできる国」づくり＝新自由主義「教育改革」攻撃と対決する改憲・戦争阻止の闘いは、教育労働者一人ひとりのあり方・生き方が問われる課題です。

被爆地・広島教育労働者は、改憲と戦争への危機感から、「日の丸・君が代」を強制する文科省の「是正指導」(1998年)以来の20年にわたる教組つぶしの暴風を現場から突き破り、「改憲・戦争阻止! 教え子を再び戦場に送らない! 広島教職員100人声明」運動を開始しました。

■教育労働者は団結しよう

「100人声明」呼びかけ人主催で開か

れた「8・5全国教職員ヒロシマ集会」には、呼びかけに応じて教育労働者をはじめ300人が全国から結集し、「『100人声明』を全国に広げよう!」と宣言しました。韓国テグから参加した青年教師は「日韓両国の葛藤が高まっています。韓国と日本の労働者が団結することが解決策です。沈黙を破り、学校を変え、社会を変えましょう」と訴えました。

広島が決起を潰してはなりません。広島教育労働者の覚悟を決めた勇気ある決起に続こう! 「広島教職員100人声明」への賛同の輪を全国に広げましょう。それは教育労働者みんなが感じている職場と政治の閉塞状況を突き破り、「闘う日教組の団結」を取り戻す大きな力になるのではないのでしょうか。

11・3全国労働者総決起集会には、広島から「100人声明呼びかけ人」が参加して直接訴える予定です。11・3日比谷野外音楽堂に職場の仲間とともに結集し、改憲・戦争阻止! 安倍たおせ! の声を上げましょう。



改憲・戦争阻止! 教え子を再び戦場に送らない! 広島教職員100人声明(抜粋)

- ◎私たち広島の教職員は、戦争と核の惨禍をくり返さないために、憲法9条への「自衛隊」明記と「緊急事態条項」新設に反対します。
- ◎私たちは、今こそ教職員として宣言します。教え子を再び戦場に送らない! 子どもたちに「国を守るために命を捨てよ」と教える戦争教育の復活を許さない。教育を国の戦争の道具にすることは絶対に許さない。
- ◎被爆地ヒロシマから全国の教職員の仲間へ、改憲と戦争を許さない行動を呼びかけます。

広島教職員100人声明呼びかけ人
田中弘美(高教組広島南特別支援学校分会員/「君が代」不起立処分撤回裁判原告) 権代幸子(元高教組組員/「君が代」不起立処分撤回裁判原告) 平野綾子(広教組八千代中学校分会員/「君が代」不起立処分撤回裁判原告) 倉澤憲司(広教組比和小学校分会員/「8・6年休」被処分者) 影久真也(元高教組組員/「君が代」不起立被処分者) 西本喜治(元高教組組員/元大野町議会議員) 川端勇樹(広島市立比治山小学校教員)